



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第16号

2021年8月9日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

わくわく算数・数学教室 事前説明会

8月7日、片葩小学校で夏休みわくわく算数・数学教室の事前説明会が開催されました。この日の最高気温は35度。夏休みの土曜日の昼間にも関わらず、約30名のSPさんが参加をしてくれました。ありがとうございました。暑い中、2時間以上かけて来てくれたSPさんもいました。これだけたくさんのSPさんが、「わくわく算数・数学教室でしっかり活動しよう。説明を聞いて、万全の体制で活動に臨もう。」と頑張っているのだと思うと、驚くとともに感謝の気持ちでいっぱいです。SPコーディネーターとして、サポートできる場所はどんどんしていきます。ぜひ、一つでも多く、いろいろなことを学んでいってもらえればと思います。



事前説明会では毎年「スクールパートナー 活動の手引き」という冊子が配布されます。この冊子を使って、今日の説明会も行われました。(今日参加できなかった方には、後日教科書と一緒に送付をしますのでご安心ください。)

・コロナウイルス感染対策

昨年度に引き続き、コロナウイルスの感染が心配される中での開催となります。この感染症対策読んでいただければ、学校現場でどんなことに気をつけていかなければならないのかが、よく分かります。参加するSPさんも、子どもたちも、安心して取り組める活動になっています。

・スクールパートナーの心得

他の学生ボランティアでは、ここまで丁寧に教えてもらえることはないと思います。これを知っただけでも、教員を目指すみなさんにとって大きな学びの一つになると思います。

・わくわく算数教室のねらい

どんな教育活動にも「ねらい」があります。「学ぶ楽しさを実感すれば、子どもたちは自ずと学力を高める活動に向かっていきます。」という言葉。何度聞いても、素晴らしいねらいだと思います。そして、昨年度から実施されている新学習指導要領と大きく繋がっています。みなさんの将来の教員生活において、核になっていく部分ではないかと思います。

・スクールパートナーの1日の活動内容

ここまで丁寧に書かれている手引きはないと思います。手厚いです。だから、SPさんは安心して取り組めるのだと思います。そして、SPさんが安心して取り組めるからこそ、子どもたちも安心して取り組むことができます。学校では、どんな配慮が必要かも細かく載っています。この手引きがあるからこそ、わくわく算数・数学教室は絶大な信頼がある事業になっているのだと思います。

手引きを読んで不明な点や疑問に思った点があれば、何でも気軽に聞いてください。LINE公式アカウントでメッセージを送っていただいてもOKです。

片葩小のSP活動には、この活動が始まったところから「学生文化」が根強くあります。“学生が学生のために学生でつくっていく文化”です。現場の先生とも協力をしていきますが、やはりメインはみなさん（SPさん）なのです。そういった文化があることもあり、この事前説明会では毎年、わくわく算数・数学教室に向けての準備もSPさんに手伝ってもらいます。今日も、長机を運んだり、事前に貸与する教科書を送付するための準備をしていただいたりしました。暑い中、重い机を12台、1階の体育館から校舎の2階や3階に運んでくれました。誰一人嫌な顔をせず、初めて会ったSPさん同士協力をして声を掛け合いながら運んでくれました。教科書の送付をする際、途中で同封する資料（手引き）が足りなくなりました。（こちらの準備ミスでご迷惑をかけてしまいました。）実は、今日参加していただいたみなさんには配布済みだったので、教科書を持ち帰ってもらう人の分は抜いて、封入していかなければならなかったのです。封入も終わりがけの頃にそのことに気づき、急いで、「今日持ち帰る人は封筒から資料を抜いて、こちらに持ってきてください」と指示をしたら、すぐに対応してくれました。教科書を揃えて、それが正しいかどうか確認をし、資料と一緒に封入をして、段ボールに詰めていく作業でした。コーディネーター2人でやったらかなり時間がかかる作業です。30人ほど参加してくれたこともあります。素早く状況を見て動いて、周りのSPさんと連携してくれたから、あんなにスムーズに終わられたのだと思います。現場に出てもこうした事務作業はたくさんあります。毎年この事業に参加してくれるSPさんは、そうした事務作業の処理能力と周りとの協力して動いていく能力が高いです。何より、どのSPさんもお願いをしたら“快く”動いてくれるのです。運営側としても大変ありがたいと同時に、こうしたSPさんの持っている力がこのわくわく算数・数学教室の質を高めてくれているのだと思います。そして“快く”動く先生は、間違いなく現場で重宝されると思います。

事前説明会の中で、今までのわくわく算数・数学教室の映像を見ました。みなさん真剣に見てくださっていました。イメージが少しいたのではないかと思います。私も改めて見ましたが、「SPさんの笑顔」「子どもたちの笑顔」「SPさんの温かさや優しさ」がいっぱいでした。今日は、以前このわくわく算数・数学教室を支えてくださっていた竹内稔博先生（現：美浜町教育委員会指導主事）も駆けつけてくださいました。いろいろな方がこのわくわく算数・数学教室を支えてくださっています。映像には、卒業して今は現場で先生をしている私の「仲間」もたくさん映っていました。片葩の「学生文化」のつながりを感じました。夏休み後半の8日間、ハードだと思いますが、とても楽しく、思い出深い日々になると思います。今日の映像で見た光景を、今年も見られるのだと思うと私もワクワクします！楽しみです。参加して下さるSPさん、よろしくお願いします！

